

さつきやま魂

崎山中学校だより
6月12日 第5号
文責 校長 山下



五島市中総体が開幕します！

いよいよ6月14・15日に五島市中総体が開幕します。9日には、中総体に向けて推戴式を行いました。バスケットボール部の平道主将、ソフトテニス部の入江主将、剣道部の大里主将、柔道部の熊川主将からの決意表明がありました。どの部からも今までお世話になった方々への感謝の気持ち、中総体に向けての強い決意を感じました。私からは、「感謝の気持ちを自分の言葉で伝えること」、「無観客試合ではありますが、「応援したい」と思わせるプレーをすること」を伝えました。プレープレー 崎中！

さつきやま魂の誇りを胸に

錬磨：粘り強くあきらめない魂



＜バスケットボール部＞



＜剣道部＞



＜ソフトテニス部＞



＜柔道部＞

心を見つめる教育週間について

6月末に予定していた「崎山っ子の心を見つめる教育週間」は、コロナウィルス感染拡大防止のため2学期に延期して実施します。ところで、教育週間が始まったきっかけを御存知でしょうか。平成15年7月1日、長崎市で当時4歳の幼児が中学1年生に殺害されるといふ、いわゆる「駿ちゃん事件」が発生しました。残念ながら、その1年後に佐世保市で大久保小事件（当時6年生の児童が同級生に殺害された）、さらにその10年後に、佐世保市で高校生が同級生を殺害するという、痛ましい事件が起きました。この「駿ちゃん事件」を受けて、平成16年から県下一斉に「心を見つめる教育週間」が始まりました。心の教育週間は、生徒たちの

- ① 「命を大切にすする心や思いやりの心の育成」
- ② 「あこがれや将来への志の育成」
- ③ 「あいさつやマナーの向上」

を目的に、保護者・地域と協力して子どもたちを育てようと、長崎県全体で取り組んでいます。今年度は、この期間の学校開放はしませんが、「命の教育」は予定どおり実施します。御家庭でも、ぜひ話題にしてくださいと思えます。

選手宣誓

「宣誓、我々選手一堂は、日頃から私たちを支え、励まし、指導してくださった全ての方々への感謝と、大会に参加できる感謝の心を忘れず、『さつきやま魂』の誇りを胸に、最後まで全力でプレーすることを誓います。」

選手代表 柔道部主将 熊川俊汰



自己暗示は効果絶大

自分にプラスの暗示をかけることができる人は成功する人が多い。では、プラスの暗示とは何か。

例えば、「風邪をひきたくない」と思っていると、寝込んでいる自分の姿などが連想されてしまい、これがマイナスの暗示となり、結局風邪をひいてしまう。「風邪をひかないように気をつける」という暗示ではなく、「元気いっぱいスキップして歩く自分の姿」などを思い浮かべると効果は絶大です。

暗示をかけるときは、マイナスの内容は排除し、ぜひプラスの暗示にしてください。

（一部暗示大全から）